

CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点) × ナレッジキャピタル
正しく学ぶ！感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座 season2

第2回

風しんの抗体 をもっていると思い込んでいませんか？

大竹 文雄 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 副拠点長・特任教授(常勤)

佐々木 周作 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門
行動経済学ユニット 特任准教授(常勤)

申込不要

2022年5月27日(金) 19:00 ~ 20:00

YouTube Live 無料配信

正しく学ぶ！感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座とは

当講座は、新型コロナウイルスを始めとする感染症の脅威から人々の「いのち」と「暮らし」を守るために、科学的根拠に基づいた感染症対策やリスク、ワクチンの開発状況に加えて、感染禍が人々の行動に与えた影響の分析などの幅広い話題について、大阪大学のさまざまな分野の研究者が、中学生から大人までを対象にわかりやすく解説する全12回のオンラインプログラムです。

講座概要

みなさんは、風しんワクチンの抗体を持っていますか。子供の頃にいろんなワクチンを接種したから、自分は抗体をもっているに違いない、と思っている人が多いのではないのでしょうか。

実は、1962年度から1978年度に生まれた男性は、定期接種として風しんのワクチンを受けていないので、風しんの抗体をもっていない人が他の世代より多いのです。この世代の抗体保有率が高まれば、日本で風しんの集団免疫が達成されます。そこで、厚生労働省は2019年度からこの世代の男性に風しんの抗体検査とワクチン接種を受けられる無料クーポンを配布しています。

どのように呼びかけると、この世代の男性に風しんの抗体検査を受けていただけるのでしょうか。また、クーポンの効果はあったのでしょうか。私たちの行動経済学的な研究の結果をお話します。

講師



大竹 文雄 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 副拠点長・特任教授(常勤)

1961年京都府生まれ。大阪大学博士(経済学)。大阪大学助手、大阪府立大学講師、大阪大学社会経済研究所教授、大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。専門は労働経済学・行動経済学。格差問題の実態と原因を実証した著書『日本の不平等—格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞などを受賞。著書に、近著『あなたを変える行動経済学』の他、『競争と公平感』『競争社会の歩き方』『経済学は役に立ちますか？』『行動経済学の使い方』など多数。



佐々木 周作 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 行動経済学ユニット 特任准教授(常勤)

1984年大阪府交野市生まれ。京都大学経済学部を卒業後、三菱東京UFJ銀行(現・三菱UFJ銀行)に入行。退職後、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程にて、博士号(経済学)を取得。日本学術振興会特別研究員DC1及びPD・京都大学大学院経済学研究科特定講師、東北学院大学准教授を経て現職。専門は、応用ミクロ計量経済学・行動経済学・実験経済学。行動経済学会の理事とともに、環境省・経済産業省・横浜市などの中央府省庁や地方自治体で有識者委員やアドバイザーを務める。



過去の講座はアーカイブで視聴できます。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/project/project01.html>

5月27日オンライン (YouTube Live) 参加はこちら

<https://kc-ijp/activity/chogakko/cider2022/detail20220527.php>



主催
助成

CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)、一般社団法人ナレッジキャピタル
日本財団

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点 事務局(総務担当)

☎ 06-6879-4903

✉ kansensyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp

🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>